

令和8年度第1回 共同生活援助事業所なごみの家地域連携推進会議 会議録

開催日時 : 令和8年8月29日(土) 10時30分～14時
開催場所 : 共同生活援助事業所なごみの家 ひなたの家交流スペース
出席者数 : 事業所3名、委員8名(欠席委員0名)

第1部

1. 開会 施設長より

2. 理事長挨拶

今年度の事業についてプランターづくりの提案と利用者の状況により8月にひなたの家となごみの家の間で入居者の入れ替えになったことの説明があった。また、本人が安心して生活ができるように手すりの設置を行ったので、ぜひ見学時に見ていただきたいという話があった。

3. 議長の指名

管理者の指名により、亀田委員が議長となった。

4. 議事

地域の人々との交流事業の検討について

起案書、資料に基づき施設長から説明があった。

その説明に対し、以下のとおり質疑応答があった。

事業所 「昨年度の会議で、利用者と地域の関係づくりや利用者に関する理解の促進を図るための取り組みについて、小学校、育成会、高齢者、自治会等との関わりをもつという意見が出ました。その意見を受けて1月20日に「ジャパンフラワー推進事業(プランターづくり)」の実施について、栃木県農業振興課に問い合わせたところ、小・中学生向けの花育事業の予算要望の受付中との話をいただいたので、その場で申し込みをしました。今回の資料は、その内容を起案書にしたものになります。ゆーあい工房の利用者は、栃木県産の花苗を使ったプランターづくりを何度か経験しているので、初めて行う内容ではないところは安心材料ですので、今回はこの企画で実施させていただきたいと思います。

参加人数や詳細については今後、小学校との話し合いをして決めていきたいと思います。学校との調整に委員の方にご協力いただきたいのですがよろしいでしょうか。」

委員 「喜んで。最初に施設長の方で連絡を取ってもらい、実際に訪ねるときに同席する形がいいかと思います。」

事業所 「地域の小学校というと大平東小学校になります。」

委員 「歩いて来られるし良いと思います。プランターは学校へ運べますよね。」

委員 「個人で持って帰るのではなく、学校で育てて飾ってもらいたいですね。」

委員 「人数によっては2，3人で1つのプランターを作成するのもよいですね。」「交流することが大切だと思います。」

委員 「学校側からの希望としては、1・2月に行って卒業式に使えると喜ぶと思います。期間外でも可能か、花の育ち方や時期などを花センターに相談してみしてほしいです。」

委員 「学校に行くときに簡単な案内を持っていき聞きながら検討できると思います。」

事業所回答 「ある程度相談して可能かどうか聞いておいて学校側と検討したいと思います。」

委員 「今後、継続的に続けられますか。」

事業所回答 「事業所としても継続して行いたいと思っています。毎年継続して行い、交流を重ねることで、地域の理解者が増えることを望みます。」

委員 「保護者への案内はどうでしょうか？持ち帰りたい保護者もいると思います。」

事業所回答 「正直、職員だけでは利用者ひとりひとりのプランターづくりがみられないので保護者の参加、協力は必要だと思っています。」

委員 「例えばプランター代がかかってしまうなら、花だけポットで持ち帰ってもらうとか、工房のプランターをリサイクルしてもいいと思います。」

事業所回答 「そうですね、予算等を考えながら、やり方を検討したいと思います。」

事業所から 「会議録をホームページへ掲載します。また、今回の事業の詳細が決定しましたら委員のみなさんにお知らせいたしますので、ご確認いただきたいと思います。」

5. その他

委員 「グループホーム間で、利用者の引っ越しがあったのですね。」

事業所回答 「そうです。お互いの希望もあり8月から引っ越しをし、新たに入居をすることができました。」

事業所から 「次回は令和9年度7月か8月で予定したいと思います。ありがとうございました。昼食の後、見学会を予定していますので是非ご参加ください。」

第2部

見学会：2グループに分かれそれぞれなごみの家、ひなたの家の見学を行った。
 前回見ていただいたグループホームとは反対のグループホームを見ていただいた。
 ひなたの家では、新たに設置した手すりをよく見ていただいた。